



東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
平成30年8月期決算 補足資料

平成30年10月10日

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



PL分析

PL

	平成29年8月期 累計期間		平成30年8月期 累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	3,436	—	4,635	—	34.9
受注残高	820	—	953	—	16.2
売上高	3,035	100.0	4,588	100.0	51.2
売上原価	1,923	63.4	2,810	61.2	46.1
売上総利益	1,112	36.6	1,778	38.8	59.9
販売管理費	347	11.4	544	11.9	56.7
営業利益	764	25.2	1,234	26.9	61.4
経常利益	737	24.3	1,211	26.4	64.3
当期純利益	538	17.7	866	18.9	60.8
EPS (円)	50.74	—	72.01	—	41.9
EBITDA	980	32.3	1,584	34.5	61.5

Point

①受注状況

- 半導体分野：3,534百万円
(対前年同期：42.6%増)
- FPD分野：1,031百万円
(対前年同期：12.0%増)
- その他分野：68百万円
(対前年同期：92.7%増)

②売上高

- 対前年同期51.2%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：155百万円増
(対前年同期：29.3%増)
- 労務費：220百万円増
(対前年同期：35.1%増)
- 外注加工費：219百万円増
(対前年同期：51.0%増)

④販売管理費

- 租税公課：94百万円増(登録免許税等)

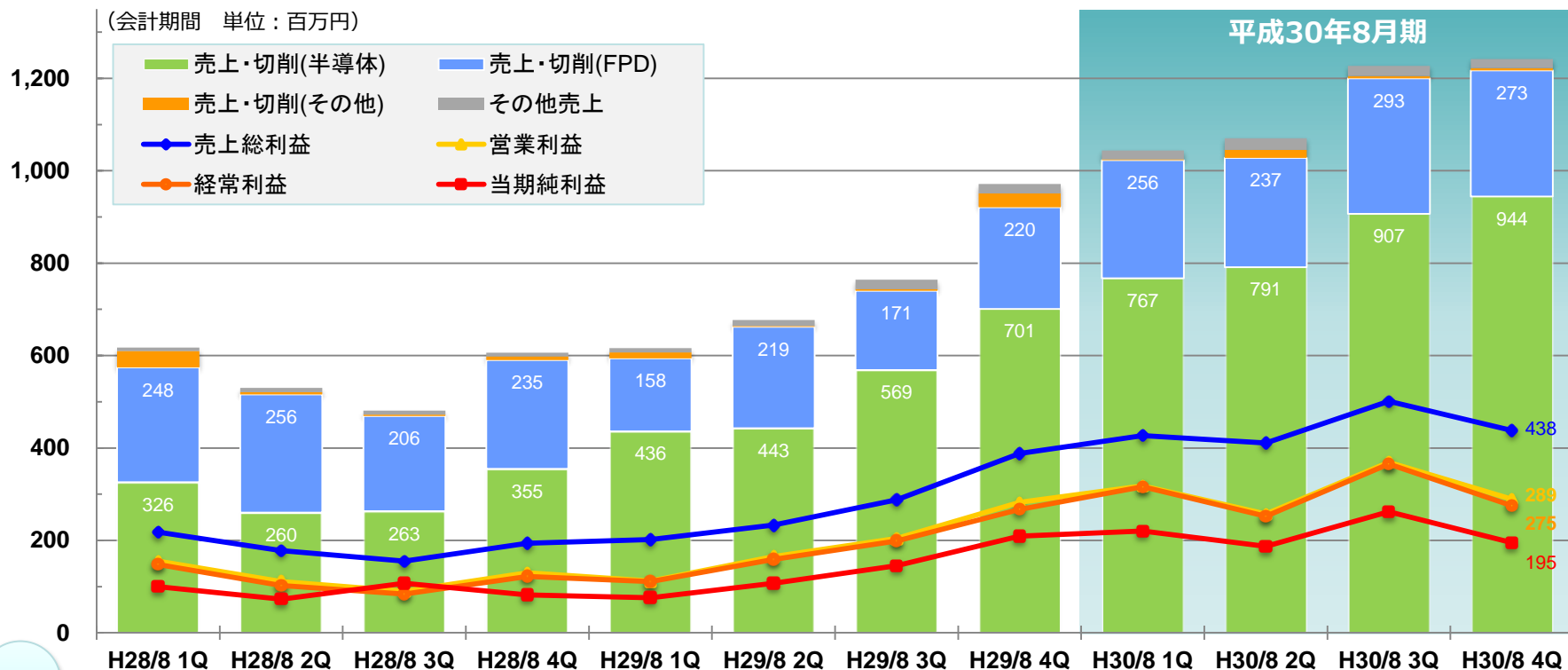
⑤営業外収益/費用

- 支払利息：16百万円
- 法人税等：349百万円

1.決算概要



四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体・FPD分野が前期比大幅増加

■半導体分野：3,410百万円（対前年同期：58.6%増）

- ・需要拡大に合わせて、出水事業所稼働など生産設備の増強と流動的人材の確保も進め生産体制を強化

■FPD分野：1,060百万円（対前年同期：37.6%増）

- ・有機ELとG10.5液晶パネルの受注拡大

■その他分野：30百万円（対前年同期：38.7%減）

②損益面は売上好調も期末の稼働低下で棚卸減少影響

- ・売上高の増加に伴い材料費と外注加工費も増加
- ・生産設備の増強と人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等が大幅に増加
- ・出水事業所取得による登録免許税の発生：51百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1.決算概要



B/S分析

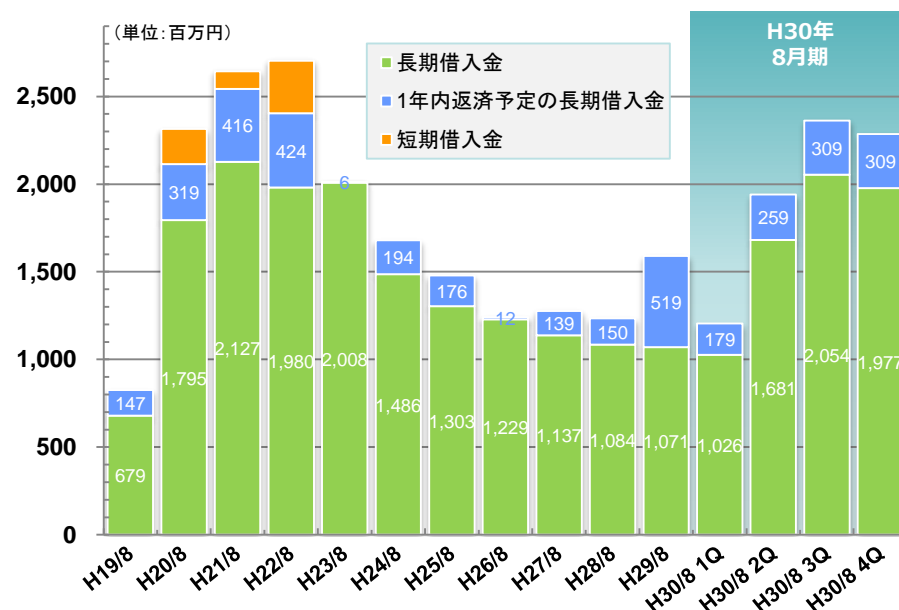
B/S

(単位：百万円)	平成29年8月期 会計年度末	平成30年8月期 会計年度末
流動資産	3,701	4,397
現金及び預金	2,425	2,612
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	910	1,236
たな卸資産	315	465
固定資産	1,717	3,690
建物・土地	777	1,816
機械及び装置	852	1,679
流動負債	1,188	966
有利子負債（短期）※	519	309
固定負債	1,092	1,989
長期借入金	1,071	1,977
負債合計	2,281	2,955
純資産合計	3,137	5,132
総資産	5,418	8,088

※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

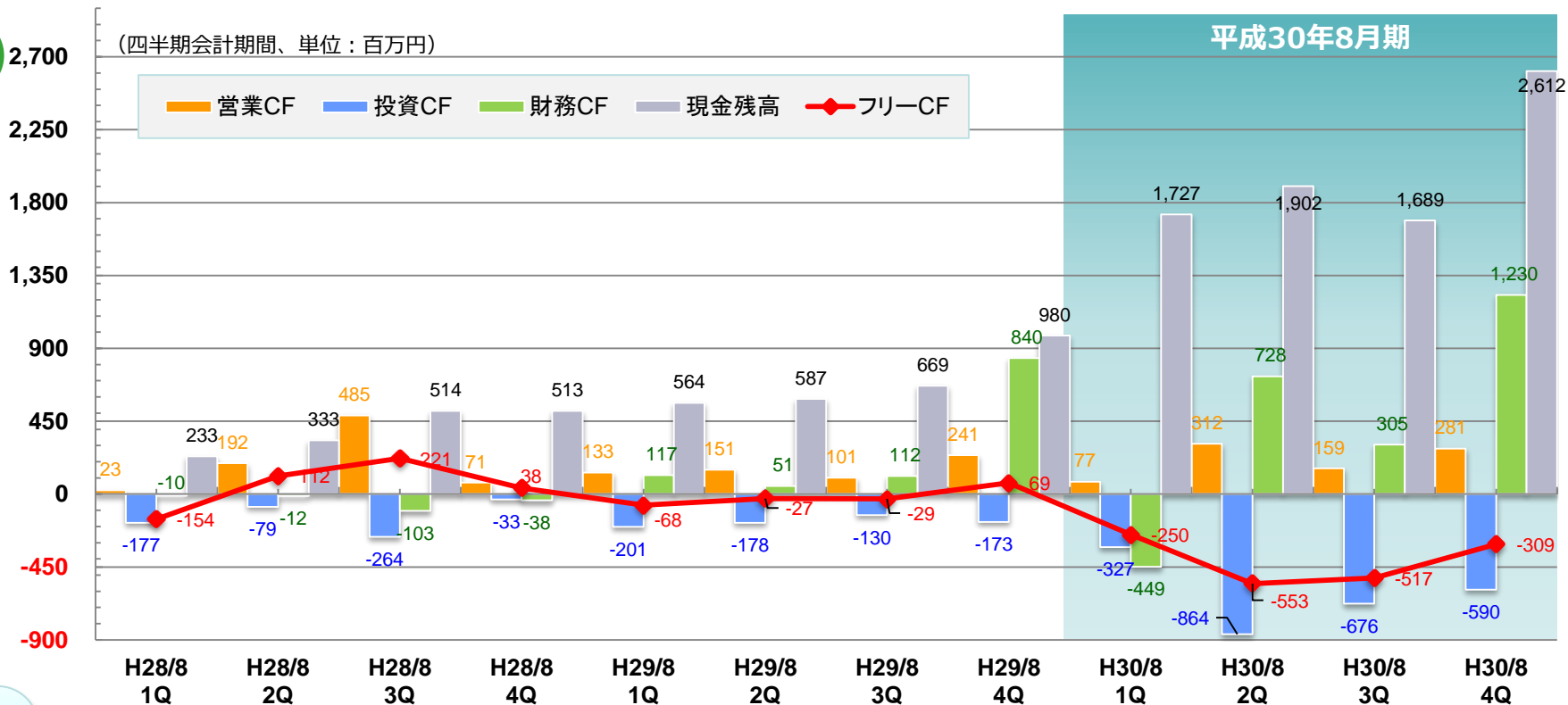
- ① **資産：8,088百万円(前期末比:2,669百万円増加)**
 - ・有形固定資産：1,954百万円増加
 - ・売上債権：325百万円増加
 - ・現金及び預金：186百万円増加
- ② **負債：2,955百万円(前期末比:674百万円増加)**
 - ・長期借入金：905百万円増加
 - ・1年内返済予定長期借入金：210百万円減少
 - ・未払金：160百万円減少
- ③ **純資産：5,132百万円(前期末比:1,995百万円増加)**
 - ・利益剰余金：675百万円増加
 - ・資本金、資本準備金：各659百万円増加
 - ・自己資本比率：57.9%→63.5%



1.決算概要

CF分析

CF



Point

① 営業活動によるCF (当期累計) : 829百万円

- 税引前当期純利益 : 1,215百万円
- 減価償却費 : 349百万円
- 利息の支払額 : 17百万円
- 売上債権の増加 : 325百万円減少
- たな卸資産の増加 : 149百万円減少

② 投資活動によるCF (当期累計) : ▲2,458百万円

- 有形固定資産の取得による支出 : 2,447百万円

③ 財務活動によるCF (当期累計) : 1,814百万円

- 長期借入れによる収入 : 1,300百万円
- 長期借入れの返済による支出 : 604百万円
- 株式発行 : 1,309百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

2.2019年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

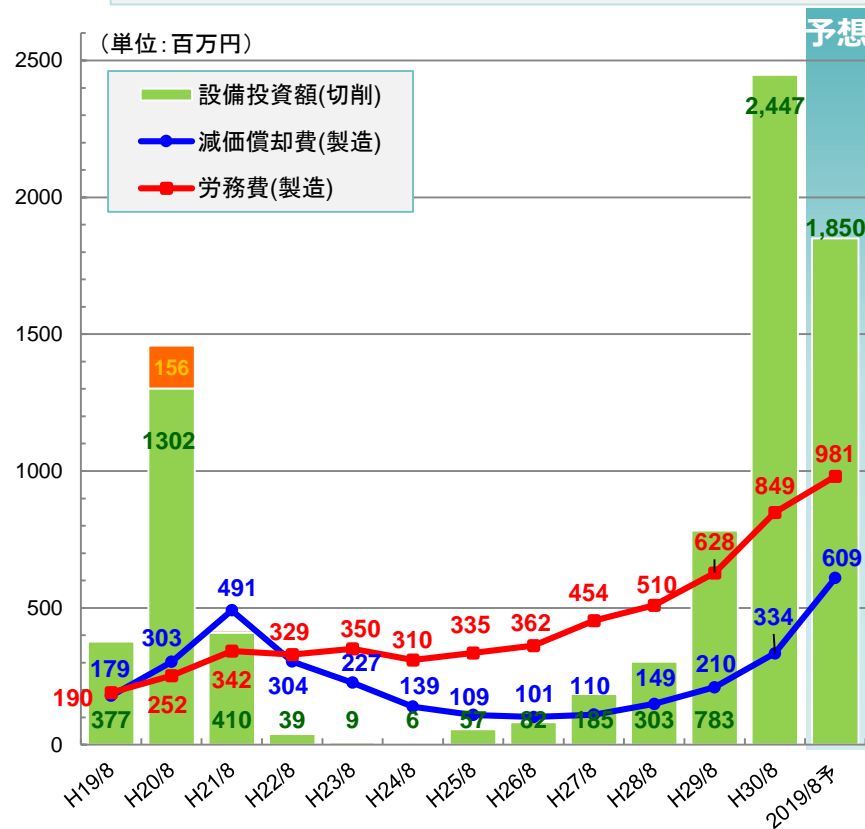
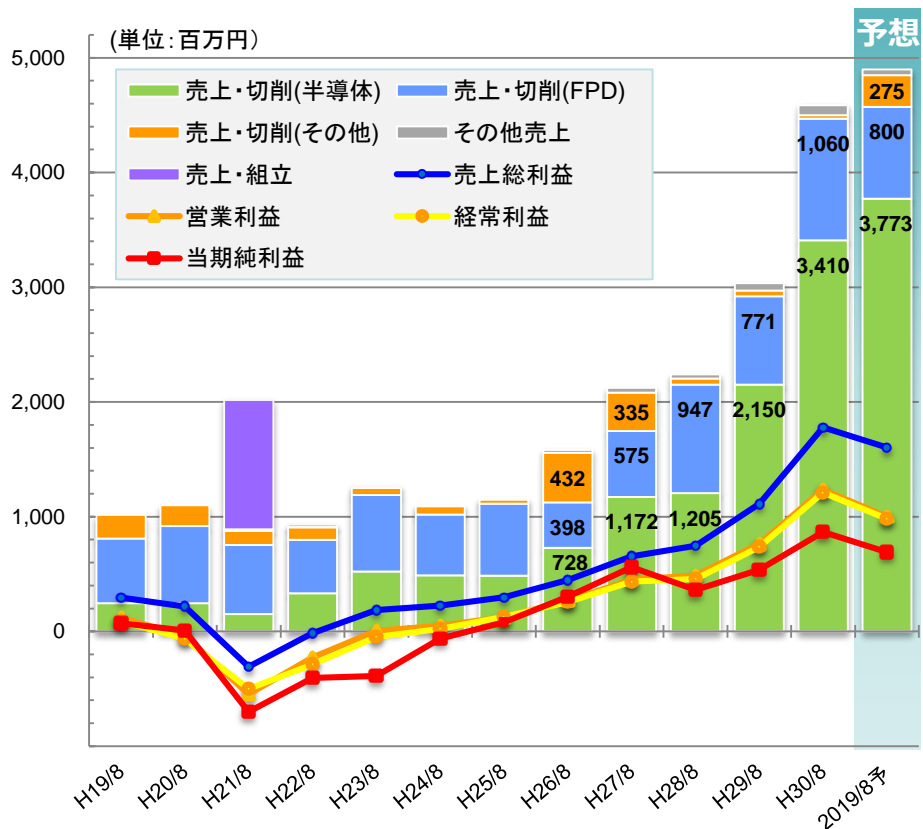
業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

2019年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利 益	1株当たり 純利益
第2四半期(累計)	2,250	390	380	267	20.46
通期	4,900	1,000	980	690	52.86

Point

- ✓ 半導体分野はメモリ向け停滞もロジック向けが投資再開。シェア拡大続ける。
- ✓ FPD分野は中国の大型液晶テレビ向けの投資は堅調に推移。下期大型EBWの貢献。
- ✓ 自動化進めるも、設備計画は市場見合い。
- ✓ 増収も償却費と労務費増加で減益見通し。





Company Profile

企業情報

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)
設立	昭和63年10月
資本金	12億4,115万円 (平成30年8月31日現在)
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 取締役 藤山 敏久 取締役 (監査等委員) 鶴田 俊成 執行役員 取締役 (監査等委員) 寺畑 幸雄 安藤 博音 取締役 (監査等委員) 梶 智和 古江 博 取締役 (監査等委員) 大道 卓 取締役 (監査等委員) 桃木野 聡
従業員数	204名 うち 臨時雇用者等97名 (平成30年8月31日現在)
所在地	高尾野事業所 〒899-0401 (本社) 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15 出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地
事業内容	・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する 経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

発行済株式総数	13,053,000株
単元株式数	100株
株主総数	8,528名
大株主 (普通株式)	前田 俊一 4,817,500株 前田 美佐子 504,000株 日本トラスティ・サービス信託銀行 487,400株 日本マスタートラスト信託銀行 241,200株 川本 忠男 212,800株 前田 良子 180,000株 五十嵐 光栄 168,000株 野村信託銀行 149,400株 マルマエ共栄会 113,800株 齋藤 格 84,900株

(注) 自己株式が97株あります。

(平成30年8月31日現在)

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863